

たんぽぽ



第1回地域交流会 実行委員会

医学用語は難しい

校長 塩川 哲男

私は1年生に「解剖生理学Ⅰ」として、基礎知識を講義しているが、難解な漢字や医学用語が次々に出てくるので、これをいかに分かりやすく伝えるのが腕の見せどころである。

たとえば、「瘻(ろう)」や「囊(のう)」、一般の人はず使わない漢字である。パソコンで変換すればすぐに出てくるが、やはり手書きでも書けたほうがよい。さすがに「鬱(うつ)」はひらがなで良いでしょうが。

次に、読み方。「腔」はふう「コウ」と読むが、医学の世界では「クウ」と読む。一説によると、「コウ」だと「口」や「孔」と間違われる恐れがあるのだと。「喘鳴」は「ゼンメイ」か「ゼイメイ」か。もちろん「ゼンメイ」が正しいが、「ゼイメイ」も増えてきていて、広辞苑七版(2018年)では「ゼンメイの訛(なまり)」として収載されている。

「頭蓋」は「ズガイ」か「トウガイ」か。これはどちらも正しいが、学会によって扱いが異なるという。難しいのは「楔」で訓読みは「くさび」だが、「楔入庄」「楔前部」は「セツ」「ケツ」のどちらでも良いという(や「セツ」が優勢とも)。

医学用語から少し離れるが、医師の手紙の脇付けによく見る「御机下」や「御侍史」、この「御」は二重敬語であって、「机下」「侍史」が正しいという話を以前聞いたことがあり、私も長くそう信じていた。しかし二重敬語ではなく、「御」は付けても付けなくても良いと。

言葉は変化するものであり、これまで間違いとされていたものが、正しい使い方になるということはよくある。古いものも大事にしながら、新しいものも柔軟に取り入れていくバランス感覚が大切だと思う。

本エッセイにあたっては、「医学用語の考え方、使い方」という本(西嶋佑太郎著、中外医学社)に多くの示唆を受けたことを付記する。

看護学科 43回生 (1年生)

元気いっぱい!! 1歩ずつ看護の道を歩んでいます。



入学式



これから看護学生 としてスタート!!



入学生代表
誓いの言葉



学びの交流

入学後、「学びの交流」を2年生がしてくれました。演習や実習時の身だしなみについてや学習方法、血圧測定の実演、学校生活の過ごし方など、たくさんのことを2年生と交流することができました。

先輩からたくさん
教えてもらいました。



43回生 クラス長
小倉

私たち43回生は、クラスみんなで協力しながら学校生活を送っています。少人数だからこそ一人一人のつながりが強く、互いに支え合いながら学びを深めています。座学や演習、実習、学校行事など、さまざまな場面で協力し合い、仲間との絆を大切にしています。少人数であることを強みと捉え、少数精鋭の43回生として、一人ひとりが目標に向かって成長し、充実した学校生活を送れるよう努力していきます。



講義の1コマ



背中
のカードに
自分の印象を
書いてくれています。



芸術



リズムに合わせて
ドン・ド・ド〜♪

クラス交流会

地区センターの体育館でクラス交流会をしました。事前にクラスみんなで、ゲームやクイズを考えました。当日はそれぞれのゲームの担当者を中心に進め、時間いっぱい楽しむことができました。仲間の意外な一面も知る機会となり、笑顔あふれる時間を過ごしました。



いちっ・にっ!!
いちっ・にっ!!
みんなで準備体操



ゲームの
準備中



基礎看護学実習Ⅰ期

6月には、初めて臨地実習に行きました。実習に向けて学習をもとに自分たちが知りたいこと、見学したいことをグループで話し合い臨みました。実習では、看護部長や事務長から病院機能や役割について話を聞きました。院内見学では、バックヤードも含め普段見ることができない場所にも行くことができました。多くの職種の方々が病院を支えていると学ぶことができました。看護師や患者さん、地域の方からたくさんお話を聞き、看護や医療について考えることができました。

健康友の会の方たちからも話を聞きました。



看護師さんへ
シャドーイング



心臓カテーテル
検査室の見学も
できました。



基礎看護技術演習

4月から基本ベッドの作り方やバイタルサイン測定など看護に必要なたくさんの技術を学んでいます。繰り返し練習して安全・安心な技術を獲得し実践できるように頑張っています。



基本ベッドの作成



食事介助



モーニングケア



入学してからの数か月、日々の学習や演習、形成テスト、初めての実習など、たくさんのことにチャレンジしてきました。グループワークではみんなで力を合わせ課題に取り組み、学校行事では思いきり楽しむ! このメリハリと明るい雰囲気がこのクラスの素敵なおところです。一人ひとりが前向きに学ぶ姿に私たちも元気をもらっています。毎日の学びの中で悩んだり迷ったりすることもあります。仲間と支え合いながら自分らしく成長して欲しいです。これからも応援しています!!

担任 佐藤 幸子

看護学科 42回生 (2年生)

看護過程を学び、実践へ向けて 仲間とともに日々奮闘しています!!

地域・在宅看護論実習Ⅰ期

地域・在宅看護論実習Ⅰ期では、クリニックや診療所、特別養護老人ホームなどの見学、友の会活動への参加、地域で暮らす方へのインタビューを行いました。安心して住み続けられる地域の大切さについて考え、そのために看護の役割は何かを学ぶことができました。

活動の前に
血圧を測定
しました。



友の会活動の
「ふまねっと」と
「太極拳」に
参加しました。

思っている
以上に
難しい...



4月から実習を重ね、学生たちの成長を感じています。地域・在宅看護論実習Ⅰ期では、対象となる方を「生活者」として、成人看護学実習Ⅰ期では「健康と労働」の視点で対象者を捉え、その人の思いや生活背景を大切にしながら看護を考えることが大切であると学びました。初めての地域交流会では、2年生が中心となって企画・運営に取り組み、互いに協力しながら主体的に行動する頼もしい姿が見られました。これまでの学びと経験を力に、成人看護学実習Ⅱ期でのさらなる成長を期待しています。

担任 身崎 佳世

成人看護学実習Ⅰ期

成人看護学実習Ⅰ期では、労働体験や外来受診している患者さんとの関わりを通して、成人期の対象の特徴と健康問題を関連させて学ぶことができました。「健康診断」について集団に向けての保健指導も行い、生活と労働に目を向けた看護の役割について学ぶことができました。

上手に
できるかな?



寒いけど、
頑張る!



遠くまで
聞こえて
いるかな?



保健指導

ハキハキと、
頑張るぞ!!



労働体験

看護学科 41回生 (3年生)

実習・技術ゼミ・国家試験学習に大奮闘！ 仲間とともに学びを積み重ね、いざラストスパート！

3年次の実習では、小児看護学、母性看護学、地域・在宅看護論、精神看護学、老年看護学と各領域実習を6月よりスタートさせています。多くの患者さんとの関わりを通して、看護観を育んでいます。

老年看護学実習II期



在宅酸素療法の療養指導をパンフレット作成し実施しました

栄養を入れていきますね

経管栄養



ゆっくり嚙んでください

小児看護学実習

外来実習



難しいな



保育園実習



小児保健指導～歯のお話～

母性看護学実習



ドキドキする～！

沐浴



赤ちゃん気持ちよさそう♪



ミノルタ測定



ミルク授乳

いっぱい飲んでね♪



K2シロップ内服

上手に飲めているかな？

診療技術ゼミナール

3年生は、新年度が始まってすぐ、国家試験に向けた取り組みや診療技術ゼミナールと、息もつかないほどの忙しい中、6月からは小児、母性、精神、老年、地域・在宅と様々なフィールドや領域で各論実習を行っています。生活や背景などから対象を捉え、これまでの知識と臨床での看護実践を統合することの大切さを実感しながら、仲間と共に実習に励んできました。夏休み明けにはクラスゼミナールで看護実践の交流をし、実習後半に向けた目標の確認や知識の構築を行っています。この後も各論実習そして3年生の集大成となる統合実習へと続いていきます。まだまだ道のりは長いですが、仲間と元気に学び合い、自らの看護観を深め成長していくことを期待し応援しています。

担任 森下 千鶴

経管栄養



難しいな～

輸液管理



緊張する～

交流会



みんなはどう考える??

「経管栄養」「輸液管理」「膀胱留置カテーテル」「痰の吸引」の4つの課題テーマについて、学習と技術獲得にむけた練習をしています！

自治会・学校行事

4月 新入生歓迎会

学校生活の紹介は先輩たちがアンケートをとり、スライドにまとめました。1年生は先輩の講義のノートを見せてもらい、ゲーム企画では先輩と交流できました。自治会より1年生にプレゼントが送られ、大いに盛り上がりました。



自治会役員



自治会では、歓迎会や予餞会などの行事を通して、学年を超えて交流できる機会を作っていきたいと思っています。また、「学校が楽しい!」と思って貰えるよう、アンケートなどを積極的に実施して、より過ごしやすい学校生活になるよう頑張っていきます。

執行委員長 郡谷

6月 体育祭

今年は、美香保体育館で行いました。玉入れや綱引きのほか、ドッチボールやバレーボールで大いに盛り上がりました。



初めての体育祭! 頑張るぞー!!

ラジオ体操



玉入れ



綱引き



昼休み



バレーボール



7月 地域交流会

初めての地域交流会では、学生と職員が春から少しずつ準備を進め、ブースやステージ企画をどのようにすれば皆さんに楽しんでいただけるかを考えることが大変でした。当日は私たちの想定以上に多くの方にご来場いただき、学校での学びを伝えることができたと思います。ステージ企画の最後にはビンゴ大会を行い、幅広い年代の方が楽しんでいる様子を見て、学生同士だけでなく地域の方との交流も大切であると感じました。来年度開催する際には、さらにより良いものにして多くの方に来ていただける行事にしていきたいです。



実行委員長 成田



頑張れー!!



ドッチボール



手浴体験ブース

気持ちいいなあ〜



先生にも手浴をしたよ!

メニュー、どうしようかな?



子ども向け遊びブース

楽しいなあ♪



2年生

成人看護学実習1期 保健指導 『健康診断の大切さ』



小児看護学実習 保健指導 『食事の大切さ』

3年生



聞いてくれたみなさん、ありがとうございます!!

手話サークル

手話サークルでは、お昼休みに集まって日常会話や病院で使える手話を学んでいます。毎年の学校の行事で企画も行っています。各学年の学習状況の報告や国家試験の応援などをしており、学年を超えた交流もとても盛んで楽しいです。

サークル長 垂柳



3位3年生



優勝2年生



2位1年生



オープン スクールカフェ



8月8日にオープンスクールカフェを開催しました。保護者の方も含めたくさんの方が参加してくれました。学校紹介やゲーム企画、演習室見学を実施しました。カフェ形式で在校生と交流する時間もつくり、ケーキや飲み物を楽しみながら勤看の魅力を発信することができました。協力してくれた学生の皆さん、ありがとうございました！

防災訓練



7月22日、火災を想定した防災訓練を実施しました。訓練では、火災発生時を想定し、学生・教職員が速やかに避難するための行動を確認しました。訓練後には大講堂にて消防士の方から講評をいただき、お褒めの言葉をいただきました。一方で、実際の火災では状況に応じた判断や行動が求められるため、火災発生時の避難方法や火災への備えについての講義を聴講しました。実際に起きた火災事例をもとに、火災発生時にどのように行動すればいいのか、動画を視聴しながら具体的に解説していただきました。また、日常生活で使用する機会の多いモバイルバッテリーが原因となる火災についても取り上げられ、身近なところに潜む火災の危険性について学ぶことができました。

新任教員の紹介

事務主任 瀧谷 路緒 さん

はじめまして。2026年6月から着任しました。これから宜しくお願いします。

勤医協に就職して33年が経ち、その間、医事課・経理課・総務課・人事課・診療所を経験しましたが、看護学校はなかなか経験できない部署なので大変光栄に思います。学生さんの情熱を湛えた澄んだ瞳を見ると初心に返ったような清々しい気持ちになりました。そんな学生さんたちのお役に立てるよう微力ながら力を尽くして参りたいと思います。



学校通信「たんぽぽ」は1981年の発行にあたって、勤看での学びをそれぞれの地で花さかせようという願いをこめて名づけられました。



Instagram



@KINKAN_SAPPORO

HPのQRコード



〈編集委員〉伊達深晴 小田麻起子 田村章江

(田沢)

厚生労働省は「地域医療構想ガイドライン」という文書で2040年は医療と介護の複合ニーズを抱える高齢者の増加と人口の減少によって、急性期医療が減少し高齢者救急と在宅医療が増加すること、医療従事者を確保することが困難になることを予測しています。それは多分、数値上はそうなっていくのでしょうか。でも、それに対しての策の中心が地域で医療機能の集約、つまり地域で医療機関が点在していると不効率なのでまとめようという話です。

医療機関は命を守るインフラ公共財です。人はいろいろな歴史があって、そこに住んでいます。住み慣れたまちですと安心して暮らしたいと思うのは自然です。「地域の医療機関を守れ！」という声が各地で上がっています。命は効率性でははかれませんが、医療へアクセスできることは大切な人権です。2040年をどのような未来にするのかを決めるのは私たちです。

いま、医療の分野では「2040年」という数字が一つのキーワードになっています。今から14年後のそう遠くはない未来です。学生のみなさんは30代半ばくらいの方が多くいでしょう。これから看護師になって、患者さんや職員、いろいろな人に出会って、大きく成長していつていでしょう。楽しい未来を描いていきたいですね。

編集後記